



Lead【ニュース】



◇ BBQ & ドジョウつかみ ◇ 8月18日(金)11:30 - 14:00

当初は、7月26日(水)に予定していたドジョウつかみでしたが、当日の朝にほとんどのドジョウが息絶えてしまったため、急遽延期になり8月にBBQと一緒に行くことになりました。

ドジョウつかみ当日、来室した子どもたちはドジョウを見ると、「もうやってもいい？」と待ち切れない様子。ドジョウプールで泳いでいる様子をじっくり眺める子どもたちが微笑ましかったです。いざスタートすると、たくさん子どもたちがプールを囲い、素手ではなかなか掴めないドジョウに大奮闘。プラカップや小さなバケツを使って、あの手この手で捕まえようとしていますが、ドジョウの動きも素早いので大変でした。1歳・2歳の小さな子どもでも、お兄さん、お姉さんの奮闘する姿や泳ぐドジョウに興味津々で、自分からプールに手を入れて挑戦する子が見られました。初めての感触に驚き、恐る恐る触る子、物怖じしない子と様々でした。どんなに小さな虫でも怖がる4歳のMちゃんが、「ほら、こんなに捕まえたよ！見て！」

と、得意げにカップを見せていたのには驚きました。

ドジョウつかみの後は、ドジョウの柳川井とから揚げにして食べたのですが、その調理過程では親子そろって見入っていました。ドジョウをきれいに洗ってからボウルに入れ、そこに酒を入れることで臭みなどをとっていくのですが、酒を入れたことでドジョウが勢いよく動き出します。体の色も少しずつ赤みを帯びていき、動きが鈍くなるその様子はとても興味深いものです。「なんでこうなるの？」など、子どもたちの疑問に大人も一緒に考えることもありました。

柳川井、から揚げができると、子どもたちはから揚げが好みだったようですが、お母さん方は「ウナギは食べられないけど、ドジョウは食べられる」「ウナギより美味しいかもしれない」など、会話が弾んでいました。また、今年は、子どもたちが自分で捕まえたドジョウを調理してほしいと持ってくるのが多く、“生き物の命をいただく”という食育への第一歩に繋がったのではと感じました。

BBQでは、お母さん方が食材を切ったり、焼いたりと交代で行っていました。よその子に、当たり前のように肉や野菜を取り分けるなど、とても和やかな雰囲気でした。他にも、さんから家庭菜園で採れた大きなスイカを差し入れていただき、スイカ割も行いました。順番を待つ、スイカへの誘導(声かけや応援)、どれをとっても子どもたちの成長がうかがえ、そして子ども同士で支え合う姿が印象的でした。ドジョウもそうですが、普段は苦手な食べ物でも今日は食べられたという子もいました。異年齢の子どもたちの交流を通すことや、いつもとは違う空間での食事は「みんなと一緒に食べると楽しいね」という、気持ちになるのだと思います。



◇ 第4回 たいむを育てる会(運営委員会) 議事録 ◇ 8月25日(金)11:00~12:00

1. 9月の行事予定

・9月11日(月)~9月13日(水)、短期大学全館のワックスかけを行う。

* 11日(月)は閉室とし、①12日(火)、②13日(水)は、10:00~12:00の午前のみ戸外で活動する。

① 明德学園本部の裏の空き地(現在、水あそびで使用している場所)を使って遊ぶ。片栗粉あそびを検討。

② おゆみの道を散策し、有吉公園で遊ぶ。シャボン玉や(パラ)バルーンあそびなど、みんなで楽しめる物を検討。

現地集合、現地解散を可能にしてみようか。

・夏休み中、小学生や幼稚園の子どもの来室が多かったため、未就園児(0~3歳)の親子が来づらかったとの話があった ➡ ・未就園児(0~3歳)を対象として、十分に遊べる時間を設けて欲しい。

・リズム室を使っての遊びを企画する。(リズム室あそび)

・防災の日にちなみ、9月に防災について企画してはどうか。(避難経路の確認や子ども連れ避難術など)

2. その他

・各イベントの終了後に、反省会は設けないのか? ➡ ・お母さん方の意見や感想を聞き、来年度の運営委員へと引継ぐべきである。(反省や改善点など)

たいむ ➡ ・各イベントの打ち合わせや反省会は、統括を含め、スタッフ3名で行っていた。

参加者からの声などもスタッフ間で共有し、次回のイベントへと繋げていた。

・より多くの保護者の声も受け止め、次回へと活かせるようにしたい。時間を改めて設けるのか検討する。

・ドジョウつかみ&BBQについて ➡ ・価格設定を見直す。(大人300円、子ども100円だった)

《スタッフより》

・価格については、利益を目的としてはいないが、コストカットに努めている。
・普段はなかなか出来ないようなことを、親子で体験できる機会にするための活動費として考えている。

・当日、食材カンパ有り

・低価格すぎて、運営の心配をしてしまった。

・参加人数の把握。(予約制・人数制限)

・食材のロスが多いように感じられる。(各イベント共通)

・まんぷくCAFE(こども食堂)について ➡ ・たいむの利用者は、まんぷくCAFEの利用(参加)は控えた方が良いのか。

・本来の趣旨は何か?

《スタッフより》

・たいむのねらいとしては、地域の交流にもつなげられるようにしたい。

・まんぷくCAFEは2年目になったが、まだ浸透していないとも感じている。しかし、参加者が多くなりすぎて、落ち着いた雰囲気崩れることも懸念している。

・小学4~6年生になるとルーム(学童保育)がないため、夕食の時間などにも変化が見られてくるのでは?(一人で留守番、一人で食事をするなど)

・千葉市中央区(特に生浜地区)の小学生に伝える方法は?

小学校へチラシを配布してはどうか

・ボランティアの必要性 ➡ 地域のボランティア、食材の差し入れ

・いつでも、誰でも利用できる食堂であり、交流・居場所づくりの空間である。

※ 近隣の農家や地域の人たちと普段から交流を行う必要があるのではないかと?

また、短期大学において、こども食堂を行なっているというPRをすることも必要であるという意見もあった。

たいむ ➡ ・今回は統括が不在のため、次回に話を持ち越す。

次回は、9月下旬を予定

・10月の行事予定 ・まんぷくCAFEについて などを検討

■ お母さんの声より ■

《みんなで創るひろば》だからこそ、いつでも・誰でも意見やアイデアを出し合い、より良い環境をつくっていくことが望ましいと考えています。また、今年度から始まった運営会議をはじめ、たくさんのお母さん方から意見やアドバイスをいただくことがあります。特に運営会議に参画されている運営委員の方からの意見や要望はとても貴重だと考えています。

8月の運営会議では、「各イベントにおいて反省会は設けていないのか？」などの声がありましたが、打ち合わせ・準備や当日の進行など、《みんなでイベントを行う》という気持ちはあっても、みんなで振り返るということまで力を入れていなかったと気がつき、「そういう当然のこと(反省会など)ができていなければ、改善点があっても改善されない」と、スタッフ間で話し合うきっかけができました。今まではスタッフが、「前回の反省を踏まえて、次回に臨む」という意識でいました。しかし、これからは「みんなで情報を共有し、楽しいイベントにできるように心がける」という意識へと変えていく必要があること。スタッフ間だけの意見交換など、一方的な考えに偏り過ぎないように注意し、より広い視野・耳でお母さん方と意見交換ができるようにしていこうと思います。(本田)

Report【報告】

◇ 第2回流しそうめん ◇ 8月1日(火)

第1回は、7月21日(金)に1回目のまんぷくCAFEにて、初めて夕暮れ時に行いました。第2回の今回は、例年通り昼食時に行ったことで、小さな子どもたちも参加できていました。

そうめんやフルーツ、一口ゼリー、中庭のミニトマトなど、次々と流れてくる物を、箸やフォークを使って一生懸命つかもうと頑張っていました。前回参加した親子は、ゼリーやフルーツなどを上手くつかめるようにと、大きなスプーンや茶こしを持参していました。各家庭のアイデアや工夫が感じられ、「なるほど!」と納得したり、「来年はそういう使い方してみよう!」と話したり、子どもたちがメインになるのではなく、お母さんたちも楽しめる時間になったようです。また、食べるだけでなく、子どもたち自身が「やってみたい」と、そうめんなどの食材を流していました。特に、小学生・幼稚園の子どもたちが食材を流していましたが、お兄さんやお姉さんの姿を見て、「ぼくもやってみたい」と、3歳のYくんもお母さんと一緒に挑戦していました。大人も子どもも自分たちのできる範囲で準備や片付けを行い、終始にぎやかな会になりました。



◇ まんぷくCAFE ～ミニ縁日～ ◇ 8月18日(金) 13:00～17:00



8月のまんぷくCAFEは夏らしさをテーマにミニ縁日を行いました。昨年度のミニ縁日の反省を踏まえ、打ち合わせの段階からお母さん方と意見を交換し合い、準備を進めてきました。

「(食べ物の)看板があったら、お祭りの雰囲気が出ていいよね」とのことで、看板も作りました。調理の方も、“できる人ができる時に”というスタイルで進めていましたが、以前から調理ボランティアに興味をもってくださっていたTさん・Yさんも参加し、各コーナーで楽しそうな声が響いていました。

今回は、お父さんや小学生のお手伝いがあり、いつもとは少し違う雰囲気だったように感じました。たいむでの横のつながりから、少しずつ地域へのつながりになっていけたらと感じました。

《8月のメニュー》・焼きそば ・フランクフルト ・きゅうりの一本漬け ・かき氷 ・綿あめ ・チョコバナナ ・スイカ(スイカ割)



◇ 学生企画 ～新聞紙あそび・写真立てづくり～ ◇

8月24日(木) 13:15～15:00

お母さん方の「学生さんともっと遊びたいね」という声から、今回、学生4名(1年生)でしたが積極的に企画を立て、準備を進めていきました。

最初に新聞紙あそび、次に写真立てづくりという二部構成で、両方とも親子で楽しめる内容でした。特に新聞紙あそびでは講堂一面が新聞紙になるほど、やぶる・ちぎる・丸めるなどから、野球ごっこ、新聞紙の中に身を隠したり隠されたりのかくれんぼ、たくさんの紙吹雪などダイナミックな遊びに発展していき

きました。一つの素材だけでも遊び方はたくさんあり、親子・子ども同士で盛り上がり、広い空間での遊びに親子でのびのびと遊んでいました。

写真立ての製作では、自分たちの好きな色の画用紙を選び、ハートや星などの形を貼ったり、ペンで絵を描いたり、どの子も集中して素敵な作品を仕上げていきました。

企画終了後には、参加してくださった親子に学生からお礼を述べると、「すごく楽しかった」「また企画してほしい」「よくできていたよ」など、温かいお言葉をいただくと、学生たちの緊張がほぐれたようで、表情がとても柔らかくなっていました。

学生たちの反省会の時に、「実際に自分でやってみないと解らないことがたくさんあった」「間のつなぎ方ができなかった」「学生間での打ち合わせなど連携が取れていなかった」「準備不足で開始時間が遅れてしまい、迷惑をかけてしまった」とたくさんの反省点が挙げられてきました。しかし、「またやりたいです!」「今回の反省を活かして次回はもっと自分も楽しめるようにしたい」と話していました。



◇ 外あそび楽しいね ◇ この夏は天候に恵まれなかったこともあり、例年よりも水あそびの回数が少なく、とても残念でした。しかし、学園本部の裏の空き地での虫探し、かけっこをしたり、シャボン玉で遊んだりしました。セミの抜け殻さがは男の子に人気で、「ニーニーゼミ」の小さな抜け殻を見つけ喜んでいました。夏ならではの外あそびでした。

* 左の写真はニーニーゼミの抜け殻

◆ 片栗粉であそぼう！ ◆

「えっ？！片栗粉で遊ぶの？」との声もあるかもしれませんが、意外にも親子で楽しめます！！片栗粉の不思議な感触を思いきり味わってみませんか？

【日 時】 9月12日(火) 10:00～12:00

※雨天中止

【場 所】 学園本部の裏(短期大学2号館横)

【持ち物】 着替え・タオル・飲み物など

※ 汚れても良い服装での参加をおすすめします。



◆ 散歩に行こう！ ◆

みんなでおゆみの道(四季の道)を散歩しませんか？

有吉公園でシャボン玉やバルーンでのびのびと遊ぼうと計画！！



【日 時】 9月13日(水) 10:00～12:00

※雨天中止

【場 所】 有吉公園 ※現地集合・解散も可能です。

※ 詳細はスタッフまでお問い合わせください。

◆ リズム室であそぼう！ ◆

巧技台やフープ、すべり台など、身体をたくさん動かしてあそびましょう！



【日 時】 9月21日(木) 10:00～12:00

【場 所】 短期大学2号館 リズム室

【参加費】 一日会員:100円

※ たいむが初めての方も大歓迎です！

【持ち物】 着替え・タオル・飲み物など

◆ ママの誕生会 ◆

【日 時】 9月28日(木) 10:30～12:00 【場 所】 たいむcafe スペース

【対象者】 8月・9月生まれのお母さん

* 前日までにお問合せいただくと助かります。もちろん、当日参加も大歓迎です！

◆ たいむ閉室・開室時間短縮のお知らせ ◆

9月11日(月)～9月13日(水)

短期大学校内のワックスがけに伴い、閉室・開室時間の変更がありますのでご確認ください。

* 9月11日(月)・・・おやこのじかん、閉室

* 9月12日(火)・・・学園本部裏(短期大学2号館横)の空き地にて活動(10:00～12:00のみ)

* 9月13日(水)・・・おゆみの道を散歩し、有吉公園で遊ぶ(10:00～12:00のみ)

※ 戸外での活動のため、雨天の場合は中止(閉室)となりますので、ご了承ください。

※ 短期大学校内(食堂含む)へは入館できません。

※ 11日(月)～13日(水)お問い合わせは、短大代表番号へお願いいたします。